

「司法と福祉をつないで」

刑務所や少年院などの矯正施設に収容される人の中に福祉サービスを必要とする高齢・障害のある人が存在していることが指摘され13年が経とうとしています。少年院の中にいるのは、ただの非行少年なのか。非行の陰に隠れているが、彼らの多くは虐待やいじめの被害者でもあり、発達障がいや知的障がいなど生きにくさを抱えた少年も少なくありません。非行という鎧を着て身を守ろうとする少年たちに寄り添い、居場所づくりに奮闘している保護司さんの取り組みから、司法と福祉の両輪で支えることの意味を考えたいと思います。

2016年**12月13日(火)** 13:30 ~ 16:30

国立オリンピック記念青少年総合センター
カルチャー棟 小ホール (東京都渋谷区代々木神園町3-1)

参加無料 (定員300名)



基調講演

「少年たちの帰る場所～保護司とロージーハウスの取り組みから～」

講師 大沼えり子氏

～プロフィール～

大学時代からシンガソングライター、DJとして活躍。2001年保護司の委嘱を受けるとともに、少年院にラジオ放送「カントリーボーイ」を送り続けている。

また、帰る場所のない少年院出院者を支援するため、認定NPO法人「Rosy Bell」を設立、少年の家「ロージーハウス」を立ち上げ、少年の居場所づくりに尽力している。

13:00	受付	16:30	閉会
13:30	開会	17:30	情報交換会
	関係省庁挨拶		※情報交換会 (17:30 ~ 19:30)
14:00	講演		国立オリンピック記念青少年総合センター
16:15	質疑応答		カルチャー棟2F レストラン とき
			参加費 4000円 (参加費については当日徴収させていただきます)

参加ご希望の方は裏面をご記入の上FAXでお申し込み下さい